

(個人推薦を受けた者)

農業委員会委員に推薦を受けた者の一覧表(受付順)

(中間)

被推薦者(推薦を受けた者)									推薦者					
番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者の有無	氏名	性別	年齢	職業	推薦の理由	推進委員への推薦の有無
						耕作面積	主な作物							
1	西谷 泰幸	男	75	農業	百合地区長(兼駐在員)(4年) 阿南農協総代(3年) 実行組長(1年) 農地利用最適化推進委員(3年) 百合水利組合長兼会計係(継続中) 農業委員(R2.7~現在)	31a	水稻 畑作	無	楠本 明由	男	75	農業	地区長の経験もあり、地域のためによく頑張ってくれている。 現在、百合地区水利組合長として、地域の農業の維持継続に献身的にとり組んでくれている。	無
2	吉田 行雄	男	77	農業	木沢農協(S46年~) 那賀西部農協(S53年~) 阿南農協理事(H13年~) 那賀町農業委員会委員(H26.7月~現在)	50a	柚 すだち	無	坂口 博文	男	77	農業	地域の農地・農業に精通している。	無

(法人・団体から推薦を受けた者)

農業委員会委員に推薦を受けた者の一覧表(受付順)

(中間)

被推薦者(推薦を受けた者)									推薦者			
番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業者の有無	組織の名称 代表者等の役職・氏名	構成員の数	推薦の理由	推進委員への推薦の有無
						耕作面積	主な作物					
1	遠藤 真紀子	女	48	自営業	平成27年9月 那賀町移住。以降三味線教室など「和の学び舎」を運営。令和4年8月行政書士登録、「藍行政書士事務所」開業。 「藍不動産」2022年10月～ 「合同会社藍企画」2025年2月～ 農業委員(R5.7～現在)	0		無	徳島県行政書士会 松村 和人	328	農地法について精通し、地元貢献意識が高く、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止、解消等、農地の利用に関する最適化等、農業委員会業務に大きく貢献できると考えるため、推薦する。	無
2	岡内 恭子	女	63	農業	那賀町民生児童委員(R4年12月～) 那賀町和無田地区お助け隊(R5年1月～)	10a	ゆず	無	徳島県農業委員会女性協議会 会長 大久保 光江	69	民生児童委員などを務め、地域の状況や農業に精通しており、農業委員として相応しいと考えるため。	無

農業委員会委員に応募した者の一覧表(受付順)

(中間)

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業 者の有無	応募理由
						耕作面積	主な作物		
1	谷 学	男	45	農業	平成10年～平成30年5月会社員として勤務 Iターンし新規就農(平成30年8月～現在) 農業委員(R5.7～現在)	58a	柚 ケイトウ	無	引き続き農業委員として地域に貢献したいため。
2	川田 直	男	50	自営業 農業	1999年、川田農機商会で仕事を始める。 1999年夏から農業を始める。 農業委員(R2.7～現在)	170a	水稻	無	引き続き農業委員として地域に貢献したいため。

(個人推薦を受けた者)

農地利用最適化推進委員に推薦を受けた者の一覧表(受付順)

(中間)

被推薦者(推薦を受けた者)										推薦者					
番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業 者の有無	推薦区域	氏名	性別	年齢	職業	推薦の理由	農業委員 への推薦 の有無
						耕作面積	主な作物								
1	井上 義一	男	76	農業	柚子栽培(31年) 農地利用最適化推進委員(R2.7～現在)	10a	柚子	無	木沢	吉田 行雄	男	77	農業	井上氏は、現在まで木沢地区で活躍され、地元農業も経験され農家の信頼も厚く、引き続き推進委員として適任と思われる。	無
2	弓長 由明	男	75	農業	仁宇地区駐在員(4年) 仁宇農業実行組長(4年) 農地利用最適化推進委員(R2.7～現在)	78a	水稻 野菜	無	鷺敷②	武市 佳訓	男	75	無職	仁宇地区の農業実行組長として活躍し、地域の農業推進に取り組んでいるため、引き続き推進委員として適任と思われる。	無

農地利用最適化推進委員に応募した者の一覧表(受付順)

(中間)

番号	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況		認定農業 者の有無	応募区域	応募理由
						耕作面積	主な作物			
1	立川 善久	男	47	農業	那賀町地域おこし協力隊 (平成30.10～令和3.9) 新規就農(令和3年10月～) 農地利用最適化推進委員(R5.7～現在)	90a	柚子 ケイトウ 菜の花	無	木頭	現在、木頭南宇地区で、柚子栽培やケイトウ栽培を行っている。引き続き推進委員として、「農地の現状把握」や「地域の課題解決」に取り組み、新規就農者のスムーズな就農の手助けとなりたいと考えたため。